

町見人権学習会で発表しました！

13日、町見公民館で人権学習会が開催され、九町小学校の3名の児童が、人権メッセージを発表しました。今回は、その3名のメッセージを紹介します。

悪口やいじめは、だめ

六年 大山 柊哉

友達が悪口を言ったり、相手がいやがることをしたりするのを見かけることがあります。悪口を言ったり、いじめたりするのはいけないことです。だれでも、いじめられたら悲しい気持ちになります。たとえ遊び半分でも、言われた人はそのことをずっと覚えているかもしれません。心の中では、きっと許していません。それだけ、いじめは相手を傷つける行動です。もし、いじめを見かけたら「それはいけないよ」と声をかけましょう。みんなが協力すれば、悪口やいじめのない学校にできると思います。



いじめをなくそう

五年 竹本 莉乙

いじめをなくす方法は、二つあると思います。まず、一つ目は、いじめをしている人を見かけたら注意をすることです。先生に知らせるのも良い方法です。見て見ぬふりをするのは、いじめをしていることと同じだと思います。二つ目は、いじめられたら、すぐに誰かに相談することです。一人で悩んで苦しむより、周りに助けを求めることが大切です。いじめをなくすために必要なのは、勇気を持って一歩ふみ出すことだと、私は考えています。



友達を大切に

三年 井上 秋穂

わたしは、友達から「いっしょに遊ぼう」とさそわれたり、「すごいね」とほめてもらったりすると、とても幸せな気持ちになります。友達とすごす時間は、笑いがたえず、いつも楽しいです。ときどき、けんかしてしまうこともあります。おたがいにあやまって、すぐに仲直りします。さいきんは、友達とじしゃくを使ったマジックにむちゅうになっています。じしゃくを手につけてじまんしているすがたが、とてもおもしろいです。友達は、私にとって本当に大切です。これからもずっと友情を大切にしていこうと思います。

